



彩の国さいたま国際協力基金令和8年度助成金

ビエンチャンにおける高齢者・障がい者のための福祉美容トレーナー育成事業



認定/埼玉県指定 特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN



団体名	認定/埼玉県指定 特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN
設立(発足)年月日	1988年5月1日
設立目的	アジアの貧しい子ども達や女性、青少年の精神的・経済的自立のため、主に職業訓練による人材育成での支援活動を通じて生活向上、貧困削減を図り、共生する平和な社会を目指す。
主な活動地域	ラオス人民民主共和国
主な活動内容	【海外】 ラオス <u>教育を受ける機会が少なかった女性・青少年の生計向上、貧困削減に寄与する活動</u> ・短期職業訓練（調理・縫製・理美容・木工・介護）による人材育成 ・就業やマイクロファイナンスによる起業支援等 ・奨学金支給、学校建設等による教育支援 ・日本文化紹介などの日ラオ文化交流事業 【国内】 ・各種国際イベントへの参加による国際協力、開発教育普及啓発活動 ・スタディツアー、インターン、ボランティアの受入など国際協力推進事業 ・在留外国人支援事業



正式国名：ラオス人民民主共和国 (Lao PDR)

Lao People's Democratic Republic

政 体：人民民主共和制

ラオス人民革命党による一党独裁(1975～)

首都：ビエンチャン

面積：236,800km²

人口：7,665,000人（人口密度31.5人/km²）

元首：トンルン・シーシリット国家主席

（ラオス人民革命党書記長）

名目GDP：178.2億ドル（136位/191ヶ国）

一人当たり2,288.44ドル（153位/191ヶ国）

民族：50民族(ラオ族50%以上、クム族、モン族)

言語：ラオス語

宗教：仏教64.7%、アミニズム

課題：一人当たりで最も多くの不発弾を抱える国
（2億7000発投下→8千万発が不発弾）





ラオスの各民族の伝統衣装



ラオ族



クム族・カム族



ラオ族（ラオルム）



ラオス料理



ラープ
肉ハーブ和え



ゲーンノーマイ
筍スープ



タムマークフン
青パイヤサラダ



カオジーパテ
バケットサンド



カオニアオ
もち米



カオピアックセン
米麺ヌードル



ビエンチャンにおける高齢者・障がい者のための福祉美容トレーナー育成事業

目的：高齢者や障がい者にとって、身だしなみを整えることは、心理的な安らぎを得て、尊厳ある生活を送ることにつながり、また身体を清潔に保つは、疾病を防ぐ助けにもつながる。
しかし、ラオスでは日本や欧米諸国のように、高齢者や障がい者が理美容サービスを提供できる人材がいないため、本事業ではまず福祉美容の知識と技能を持つ理美容人材を育成する。





SDGsへの適合

- 目標 1（貧困）
- 目標 3（保健）
- 目標 4（教育）
- 目標 8（経済成長と雇用）

美容師や理美容トレーナーへの福祉美容技能訓練により、高齢者や障がい者等へ安心なケアを届けて心身の健康とQOL向上に貢献し（目標1, 3）、訓練を受講したトレーナーや美容師を通じた次世代育成（目標4）と福祉美容分野での新たな雇用・自立機会の創出（目標8）に貢献

受益者数

事業実施中の受益者

- ・ 訓練参加者：6名
- ・ On-The-Jobトレーニング福祉美容サービスを受ける者：約30名

事業実施後の受益者

- ・ 今後福祉美容の指導を受ける美容師や訓練生：60名以上
- ・ 将来的に福祉サービスを受ける高齢者・障がい者：120名以上



ビエンチャンにおける高齢者・障がい者のための福祉美容トレーナー育成事業

内容：ラオス教育省の職業教育の中央組織である、職業教育開発機関（VEDI）において、IV-JAPANの理美容職業訓練コースの卒業生の中から選抜した6名（美容師やトレーナー）を対象に、高齢者や身体が不自由な人への安全かつ適切な理美容サービス『福祉美容』の技術訓練（ワークショップ）を5日間実施

- ・ 座学
- ・ 身体に負担がかからない、散髪、洗髪、ヘアセット、化粧（メイク）などの実技指導
- ・ 高齢者や障がい者に対し、福祉美容サービスを提供するOn-The-Jobトレーニング
- ・ 訓練生や一般の美容師に対する指導スキルの習得



活動1. 訓練スケジュール（5日間）

Day1	福祉美容概論、ケアエステ実習(ハンドマッサージ、ネイルケア、頭皮マッサージ、ブラシケア)
Day2	基礎カットテクニック概論、カット実習
Day3	訪問美容テクニック概論、シニアを想定したシャンプー、ブロー、カットの実習
Day4	障害者美容実習
Day5	アップスタイル講習、修了式



活動2：OJT（On-The-Jobトレーニング）を兼ねた現地活動

- ・ 地元の高齢者介護施設やコミュニティセンターにて、約20名の利用者を対象に、習得した技術を実践的に活用したサービスを提供する。
- ・ 女性障がい者協会（WWDA）にて、約20名の利用者を対象とした1日間の実地研修を実施

活動3：マニュアルの作成

- ・ 安全管理手順、障害や身体状況に配慮したカット技術、衛生管理などを含む、ラオス語の「福祉美容」マニュアルを作成。

活動4：プロジェクト活動の評価

- ・ トレーナーの技術力および受益者のウェルビーイング（幸福・健康・福祉）への影響を評価。



On-The-Jobトレーニング福祉美容サービス

女性障がい者協会

Women With Disability Association (WWDA)



Women with Disabilities Association

<https://wwda.org.la/>





達成される成果：専門的な「福祉美容」を担う美容の専門家・指導者の育成

- ・安全なグルーミング（身だしなみ・ケア）技術を習得させる。
- ・生活の質（QOL）の向上：専門的な訪問サービスを通じて、支援を必要とする人々の衛生状態、尊厳および精神的な健康を改善することで、社会参加を促す
- ・持続可能性：福祉美容の技術を現地の職業訓練制度に組み込むため、ラオス語の研修マニュアルを策定



ありがとうございました！

ホームページ <https://iv-japan.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/IvJapan>

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100008835753862>

ご寄付のお願い [https://iv-japan.org/participation and donation/donation/](https://iv-japan.org/participation_and_donation/donation/)

<https://payment.alij.ne.jp/service/credit/index>